

骨塩量（骨密度）測定

人間の身体というのは因果なもので、時間の経過とともに「老化」が進行します。これは仕方のないことです。しかし、現代の科学でもさすがに時間を止めたりは出来ませんが、医学の進歩はある程度「老化」を食い止めることを可能にしました。

そこで、ここのところよく話題になる「骨粗しょう症」のお話です。「骨粗しょう症」は病気というよりは、「骨」の老化現象です。特に女性はホルモンの関係で、骨のカルシウムやミネラル、つまり「骨塩」が更年期以降に急速に減少してまいります。しかし、この減少が平均より速く進むと、内臓は元気なのに骨が非常にもろい、という状況になります。骨がもろくなると、ちょっと転んだだけで簡単に骨折したり、また背骨が体重を支えきれずつぶれてしまう「圧迫骨折」という状況が非常に起きやすくなります。

この骨塩量、灘診療所の外来で簡単に測定できます。手のレントゲン写真を1枚とるだけです。そして骨塩量が少なく骨粗しょう症が疑われる方には、適切な生活指導や薬物療法を行っています。骨が気になる方、詳しくは診療所でお尋ね下さいね！